



大砂土中だより

は つ ら つ

澆 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.7 令和4年11月1日号

合わせる

校長 上続 昌司

2学期の大きな行事、合唱コンクールを学年別ではありましたが、無事に保護者の方にも直接見ていただき開催することができました。保護者の皆様、お忙しい中お越しいただき、ありがとうございました。

9月中旬頃から合唱コンクールの取組が始まり、音楽の授業で練習する歌声が聞こえてくるようになりました。まずは、自分のパートの音を覚えるため楽譜を見ながら孤軍奮闘し、パート練習、全体練習へと進んでいきます。他のパートの違う音が聴こえてくると、どうしてもつられてしまい迷ってしまうこともしばしば。もう一度、自分のパートの音を確認し、他の音につられないよう練習に励みます。音楽の授業だけではなく、昼休みや放課後のクラス練習も始まり、他のクラスの歌声が気になってきます。「あのクラスすごく声が出てる」「うちのクラス負けてるかも」等と話しながら廊下を歩く様子も見かけるようになります。かなりクラスの合唱練習が盛り上がってきた頃、リハーサルを行いました。わがクラスの歌の仕上がり具合と共に、どうしても他のクラスが気になります。このリハーサル後の取組は正にラストスパート。互いに刺激を受け、「絶対に負けない」という想いが強くなり、より一層練習に励むようになります。指揮者、伴奏者、パートリーダーの人たちの努力、実行委員会の皆さんの準備にも力が入ります。このような過程を経て本番当日には、見事に合唱として仕上げてきてくれました。

時を同じに新人体育大会の県大会が始まりました。市の大会でベスト4進出の快進撃を収め、見事県大会出場を決めた大砂土中学校野球部は、大谷中学校との合同チームとしての出場です。私は運良く市の予選から何度か野球部の試合を観戦することができました。合同チームなので平日の練習はそれぞれの学校で行い、土日や休日のみ合同練習を行うことができる状態でした。それぞれのチームに特徴や良さがあり、試行錯誤しながらベストのチーム編成を組み立てていきます。ポジションや打順、サインの確認、連携プレーなど、限られた時間の中で行わなければならない、苦労も多かったと思います。そんな条件の中、大会が始まり1回戦、2回戦と試合を重ねるごとに一つのチームとして成長していく姿がそこにありました。

私は、この合同チームと合唱の取組を重ねて見た時、互いを認め、尊重し合い、それぞれの良さを活かし、その過程で心と心が通じ合い信頼関係が深まっていく。そして、コンクール、試合という最大の表現の場で、思う存分練習成果を競い合う姿に「合わせる」ということの素晴らしさを感じました。この貴重な経験をこれからの生活に活かして行って欲しいと思います。